

新任

## 副院長あいさつ

副院長 漆原直人

平素より大変お世話になっております。この度、副院長の職を拝命いたしました。微力ではありますが、静岡県立こども病院ならびに地域医療の発展に努めてまいりたいと思います。よろしくお願い申し上げます。また今般の新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大に、対応されているすべての医療関係者の皆様のご尽力に敬意を表します。

さて、私は、平成13年、静岡県立こども病院小児外科に、岡山大学から赴任いたしました。河野澄男先生、長谷川史郎先生の後任として平成15年に小児外科科長となり、現在に至っています。小児の内視鏡外科、気道外科など全国から多くのお子さまが紹介されており、皆様方のご支援の賜物であり、深謝申し上げます。

こども病院の最大のメリットは、胎児期から成人にかけての一貫した医療体制が構築できることにあります。また最近では、小児がん拠点病院として全国の15病院の一つとして認定されました。血液腫瘍科、放射線科、臨床病理科、等と隔週で腫瘍カンファレンスを行い、小児がん患者にとって最高の治療ができればと考えています。

また地域医療に奮闘されている先生方とともに静岡の地において、地域医療水準の向上をさらに目指して努力していきたいと思っております。ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



### news

\*\*\*\*\*

## 移行期医療支援センターを開設しました



こども病院は、本年度「移行期医療支援センター」を開設しました。

小児医療の進展により、多くの子どもたちの命が救われるようになりましたが、その一方で、原疾患治療や合併症治療が長期化し、思春期、成人期を迎える患者が多くなってきました。

そのような患者の方々に対し、その症状等に応じて小児医療機関から成人医療機関への移行を適切かつスムーズに行う必要があります。

これまで、移行連携が必ずしも十分に行われていない面があり、国から各都道府県に対し「移行期医療支援センター」を設置するよう通知がされました。これを受け、当院が県から委託を受けたものです。

今後、県の主催による「地域医療連携協議会」により基本方針を策定、「移行期医療支援センター」では診療分野ごとの移行期医療の実態と対応体制を集約し、連携体制の構築を行う等により、対象患者からの相談対応や、「移行期外来」の設置等を行ってまいります。

# 脊柱側弯症の手術を始めました

整形外科 **ふじもと** 藤本 **よう** 陽

2019年1月より脊柱側弯症に対する手術治療を開始しました。全国のこども病院で側弯症手術を行う施設は少なく、当院の小児整形外科診療体制が強化されました。

〈小児期の対処が必要な各種側弯症に対して治療を行っています〉

## 特発性側弯症

基礎疾患のない側弯症で、思春期の女兒に多く、日本人での発生率は2~3%とされる。進行するリスクが高い症例ではまず装具治療を行う。ある程度以上に進行すると骨成熟後も悪化するため、手術が必要になる。

## 麻痺性側弯症

脳性麻痺、脊髄性筋萎縮症など麻痺性疾患に伴う側弯症。高度に進行すると胸郭変形による拘束性換気障害と椎体による気管への圧排による閉塞性換気障害をきたす。

## 症候性側弯症

症候群や染色体異常に伴う側弯症。幼児期に発症するものは進行が早い傾向にある。

## 先天性側弯症

先天的脊椎奇形がある側弯症で、半椎症では5歳前後での手術が必要になることがある。

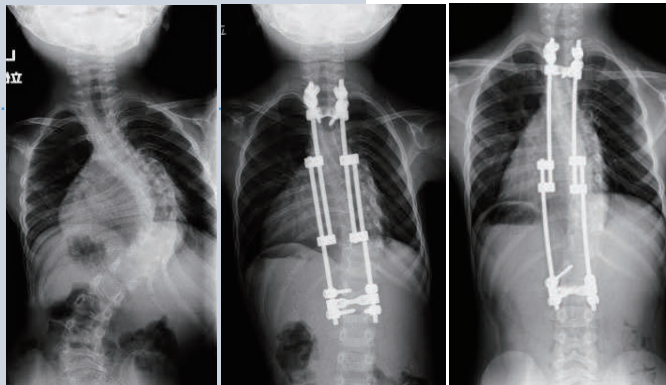
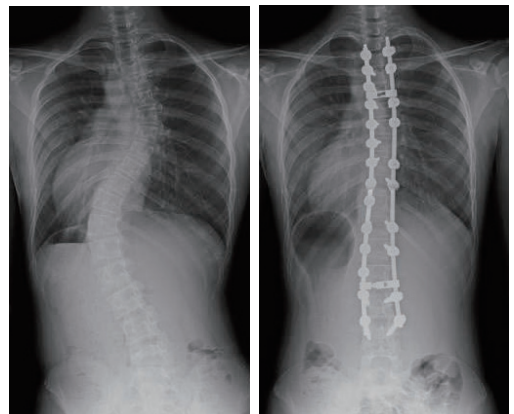
## 早期発症側弯症

10歳未満に発症する側弯症の総称。8歳未満での進行は胸郭形成不全を合併し生命予後に関わるため骨成熟まで複数回の手術が必要になる。



治療前

治療後



早期発症側弯症に対する Growing Rod 法



高度変形例に対する 3Dモデル作成

患者様のご紹介は **整形外科** にお問い合わせいたします。  
手術実績、その他詳細については当院HPをご覧ください。



# 新任科長の紹介

## 小児救急センター長 唐木 克二



平素より大変お世話になっております。  
本年4月より小児救急センター長の職を拝命しました唐木克二と申します。本年2月より着任しておりましたが、過去にも当院での勤務経験があり、働く機会を得たのは今回で3回目となります。小児救急センターは2013年に開設され、各科と連携しながら、また、皆様方のご紹介やご支援のもとで現在に至っております。これからも静岡県の小児医療の益々の発展のために真摯に努めてまいりたいと存じます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 形成外科長

### 加持 秀明



かもち  
加持秀明と申します。東京医科歯科大学歯学部卒業後、ヨーロッパのような医科・歯科ダブルドクターの頭蓋顎顔面外科医を志し、長崎大学医学部に編入しました。聖路加国際病院で初期研修後、頭蓋顎顔面外科で先進的治療を行っていた自治医科大学形成外科に入局しました。同大学とちぎ子ども医療センターで小児形成外科診療に従事し、平成29年4月、静岡県立こども病院形成外科に赴任しました。口蓋裂センター・頭蓋顔面センターでの頭蓋顎顔面領域を中心に、四肢・体幹を含めた体表に変形のある子どもの機能的・整容的治療を目指します。

## 遺伝染色体科長 清水 健司



平成31年4月に静岡県立こども病院遺伝染色体科に赴任した清水健司と申します。  
こども病院における遺伝診療においては、ここ数年で長足の進歩を遂げてきた遺伝子診断技術を診療に正しく生かすための新たな体制づくりが求められています。このような背景を受けて、赴任後は遺伝学的検査体制の体系化や、認定遺伝カウンセラーや他診療科との連携強化等に取り込んできました。規模が小さい診療科ではありますが、今後は院外医療機関も含めた遺伝医療のさらなる連携と裾野の拡大につなげていければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

## 免疫・アレルギー科長

### 目黒 敬章



昨年度より免疫アレルギー科科長を拝命いたしました目黒です。こども病院では2011年からお世話になっており、前科長の木村先生のもとでアレルギー疾患、免疫疾患の症例を多数経験させていただきました。当院は静岡県のアレルギー疾患医療拠点病院に指定されております。また、自己炎症性疾患や免疫不全症候群の遺伝子診断の体制も整えており、日本リウマチ学会専門医との連携も可能です。これらの強みを活かし、アレルギー疾患や免疫疾患の子どもたちの力になれるよう努力してまいりたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

## 神経科長 松林 朋子



平成31年4月に静岡県立こども病院神経科に赴任した松林朋子です。県立清水東高校卒業後浜松医科大学に入学し、平成5年に浜松医科大学小児科教室に入局いたしました。その後県内各地の関連病院で勤務し、東京女子医科大学で神経の勉強をしてきました。人生のほとんどを静岡県で過ごしているので県内の医療体制もおおむね把握しているかと思えます。小児神経疾患分野において静岡県のこどもたちに貢献できるよう努力致します。ご紹介いただいた場合なるべく早く受診できるよう努めて参りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

## こころの診療科長

### 大石 聡



令和元年度からこころの診療科科長をさせて頂いている、大石です。平成5年大阪市大卒、精神科入局後、児童グループで研鑽しました。平成13年から大阪府立精神医療センターで児童部門を担当し、主に重度の自閉症や被虐待児の治療に取り組んできましたが、縁あって平成21年春、静岡に参りました。静岡生活も12年目となります。子どもの体と心と一緒に支援できる病院は、全国的にも貴重です。身体の手当て各科の先生方にお世話になっている分、こころのケアに関しては何でも気軽にご相談頂ければと思います。好物はお酒とクラシック音楽です。よろしくお願いいたします。

●気になる病気がありましたら  
いつでもご相談ください●

静岡県立こども病院



\*ホームページにて、各診療科の詳しい情報を見ることができます。  
静岡県立こども病院のページにアクセスし、「診療科・部門」から気になる科をお探してください。  
スマートフォンからもアクセスが可能です。

\*お電話でもご相談を受け付けております。 電話 054-247-6251 (代表)

\*\*\*\*\* 組織改正・人事異動情報 \*\*\*\*\*

●人事異動

平成30年度～令和2年度の人事異動により、職員の採用・退職・転入・転出がありました。  
9月1日現在の主要な医師は、表のとおりです。

表 役職別主要医師一覧（診療科長以上）注：「\*」は兼務を示す。

R2.9.1現在

役職等	氏名	役職等	氏名	役職等	氏名
院長	坂本 喜三郎	小児がん相談室	渡邊 健一郎*	腎臓内科	北山 浩嗣*
副院長	西口 富三	移行期医療支援センター	猪飼 秋夫*	免疫・アレルギー科	目黒 敬章
副院長	田中 靖彦	臨床研究支援センター	渡邊 健一郎*	神経科	松林 朋子*
副院長	猪飼 秋夫	研修推進センター	関根 裕司	循環器科	田中 靖彦*
副院長	漆原 直人	チーム医療推進センター	大崎 真樹	小児集中治療科	川崎 達也*
医療安全部長	田中 靖彦*	国際交流室	坂本 喜三郎*	皮膚科	—
医療連携部長	猪飼 秋夫*	ボランティア活動支援室	上松 あゆ美	放射線科	小山 雅司*
情報管理部長	河村 秀樹	診療情報管理室	河村 秀樹*	臨床検査科	河村 秀樹*
内科系診療部長	渡邊 健一郎	診療画像管理室	小山 雅司	小児外科	漆原 直人*
外科系診療部長	奥山 克巳	ITシステム管理室	芳本 潤	消化器外科	漆原 直人*
こころの診療部長	—	輸血管理室	堀越 泰雄	呼吸器外科	福本 弘二*
診療支援部長	田代 弦	臨床工学室	福本 弘二	心臓血管外科	猪飼 秋夫*
		成育支援室	溝渕 雅巳	循環器集中治療科	大崎 真樹*
【センター長】		リハビリテーション室	真野 浩志	脳神経外科	田代 弦*
周産期センター	西口 富三*	心理療法室	大石 聡	整形外科	滝川 一晴
新生児センター	中野 玲二	中央滅菌材料室	田代 弦*	形成外科	加持 秀明
循環器センター	田中 靖彦*			眼科	—
小児集中治療センター	川崎 達也	【診療科長】		耳鼻いんこう科	橋本 亜矢子
小児救急センター	唐木 克二	総合診療科	関根 裕司*	泌尿器科	濱野 敦
こころの診療センター	—	小児感染症科	荘司 貴代*	産科	西口 富三*
予防接種センター	松林 朋子	小児救急科	唐木 克二*	歯科	加藤 光剛
【室長】		新生児科	中野 玲二*	麻酔科	奥山 克巳*
医療安全管理室	田中 靖彦*	血液腫瘍科	渡邊 健一郎*	病理診断科	岩淵 英人
感染対策室	荘司 貴代	血液凝固科	堀越 泰雄*	リハビリテーション科	真野 浩志*
地域医療連携室	北山 浩嗣	遺伝染色体科	清水 健司	こころの診療科	大石 聡*
入退院支援室	河村 秀樹*	内分泌代謝科	上松 あゆ美*	発達小児科	溝渕 雅巳*

令和元年度以降の変更は赤字になっています。

読者の皆様からの質問等を受け付けています

小児医療や当院に関する意見、質問をお寄せください。住所、氏名、年齢、電話番号を明記、あて先は、〒420-8660 静岡県立こども病院医療サービス課「ひろば読者投稿」係（FAX:054-247-6259、MAIL:kodomo-keiei@shizuoka-pho.jp）。原則として200字以内でお願いします。